

③ これまでの災害廃棄物 処理実績

これまでの災害廃棄物処理事例

(母衣町)



令和5年7月、高岡市内で大雨により浸水被害がありました。

(岩坪地区)



高岡市の職員と、

(開発本町)



TEK、

(岩坪地区)



令和7年1月29日 株式会社高岡市衛生公社

ヒヨシ、

(木町地区)



H A R I T A の処理業者とで、

(清水町)



分担して回収にあたりました。

(油町)



災害時廃棄物処理対応の基となったのではないかと考えてます。

(若富町)



④ 災害廃棄物処理の課題

災害廃棄物処理における課題のひとつは・・・退蔵品！！



令和6年11月NHKの放送でも取り上げられていました。



退蔵品とは、使用や利用しないにも関わらず、しまい込んでため込まれたものであって、年々蓄積された物のことを呼びます。



家具、衣類、家電製品、農薬・灯油・消火器などの処理困難も。



NHKの番組では災害に備えるための訓練の様子が紹介されていました。

The screenshot shows a web browser displaying an NHK article. The browser's address bar shows the URL <https://www.nhk.or.jp/bousai/articles/32360/>. The NHK logo is visible in the top left. The article title is "災害時に必ず発生する「災害廃棄物」 どう向き合う？今からできる対策は？" (Disaster waste that inevitably occurs during disasters: How to deal with it? What countermeasures can be taken now?). The date "2024年11月29日" (November 29, 2024) is shown. The main image depicts a large pile of disaster waste, including cardboard boxes, plastic bags, and other debris, with the text "どう向き合う？" (How to deal with it?) overlaid in red and "災害廃棄物" (Disaster waste) in yellow. Below the image, the text reads: "自然災害によって必ず発生する大量の「災害廃棄物」。この災害廃棄物を片付けないことには復興が始まらない、復興のための「1丁目1番地」です。この課題に備え、対応しようという動きが全国にあります。災害廃棄物を増やさないために今、わたしたちにできることも。災害廃棄物にどう向き合っていくのか、各地の実践をヒントに考えます。" (A large amount of disaster waste inevitably occurs due to natural disasters. If this disaster waste is not cleaned up, reconstruction will not begin, it is the "1st block, 1st house" for reconstruction. There are movements across the country to prepare for this issue. To avoid increasing disaster waste, what we can do now. How to deal with disaster waste, let's think about it with hints from practices in various places.)

退蔵品は災害が発生すると廃棄物になる。

富山県内の各市町村でも災害発生を想定し、各自治会で仮置場設置訓練を行い、住民と一緒に手順や周知事項等を確認されればと思います。

その際、実際に家から災害廃棄物に見立てた退蔵品を運び出して置いてみると、現状確認と状況分析ができます。退蔵品は処分してみましよう。実際の運搬・処理工程や費用も確認できます。

リサイクルショップの活用、不用品交換会、その他チラシ配布等、退蔵品を減らす啓発活動が必要だと感じています。

ご清聴ありがとうございました。

